



地域のみな様と、私たちをむすぶ広報誌

Vol. 66
2025.10 秋号

京都中部総合医療センター

Kyoto Chubu Medical Center



令和7年度 地域医療教育推進事業
京都府立医科大学医学部・医学科より17名、看護学科より10名の学生に参加いただきました。

CONTENTS

■ 院長挨拶	①
■ 令和7年度地域医療教育推進事業	③
■ 病院機能評価認定更新のお知らせ	③
■ 診療科紹介 病理診断科	④
■ 診療科紹介 放射線科	⑤
■ 京都中部総合医療センター看護専門学校	⑥

■ 認定看護師セミナー	⑦
■ 働き始めて	⑦
■ 世界糖尿病デー	⑨
■ ベストウェイト外来開設	⑨
■ 優秀演題に選出されました	⑩
■ MRI 脳ドックを新設しました	⑩
■ 第27回京都中部総合医療センター学術集会	⑪

地域医療支援病院 紹介受診重点医療機関 臨床研修病院
救急告示病院 日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院 第二種感染症指定医療機関
地域周産期母子医療センター ヘき地医療拠点病院
京都府地域リハビリテーション支援センター
京都府災害拠点病院 (地域災害医療センター)
DMAT 指定医療機関 認知症疾患医療センター
エイズ拠点病院 京都府難病医療協力病院

京都中部総合医療センター

〒629-0197 京都府南丹市八木町八木上野25番地
TEL 0771-42-2510(代) FAX 0771-42-2096
<https://www.kyoto-chubumedc.or.jp>



私たちと一緒に
働きませんか？
共に働く仲間を
歓迎します！



副看護部長
まつおか みよこ
松岡 美代子

認定看護師セミナー

当院では認定看護師や特定看護師から、院内でセミナーを受けることができます。

受講は、当院の看護師なら誰でも申し込むことができますが、ラダー別の教育プログラムにも組み込まれています。7月8日には、当院の緩和ケア認定看護師の碓井寛子師長より「寄り添う力を育てる—ACPと家族支援の視点から—」という内容で、がんの患者の看護を学びました。参加者たちからは、「具体的な話を聞くことが出来、自分の看護を振り返り、これから新しい気持ちで患者さんに向き合えそう」などの感想がありました。これからも年間を通して何人もの認定看護師・特定看護師の話を聞くことができます。看護の質が高く深く、看護が楽しくやりがいのあるものになっていくのが楽しみです。



働き始めて



働き始めて

第二病棟 2階東看護師 ふじもと だい ち
藤本 大智

就職して1年の半分以上が過ぎました。私は眼科・耳鼻科・内科の混合病棟で働いています。ここでは急性期も慢性期も学ぶことができるとい希望しました。今は軽症の方を担当しながら眼科の手術患者の看護を学んでいます。

学生の頃とは違い、カルテからの情報のとり方や観察の視点など難しいことが沢山あり、覚えることの難しさと楽しさを感じています。先輩の腕をかり、色々教えていただいて採血なども出来るようになり、他にも一人でできることが増えてきたことが嬉しいことです。

これまでに5年間、ケアワーカーとして働いた経験は、今とても役に立っていますが、「ケアワーカーと看護師は全然違うんだ」ということも痛感しています。私の目標は診療看護師の資格を取り病院に貢献することです。今後は、救急救命士の資格も生かせることができたらと思います。経験していないことがまだまだあるので、これからも研鑽を積み頑張っていきたいと思っています。

